

令和5年度 主な事業

令和5年度当初予算に計上した主な事業・取り組みについて、6つの分野に分けて紹介します。

電子図書館の導入 (図書資料整備事業)

2,346万円

村民の皆さんがいつでも・どこでも利用できる図書サービスの提供を目指し、電子資料の貸出サービスを開始します。



※関連情報は、本紙10ページをご覧ください。

3 グリーン化の推進

省エネ機器等導入補助 (先進科学技術による産業振興推進事業)

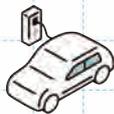
300万円

製造現場などの事業活動で省エネへの取り組みが促進されるよう、製造機器等において省エネ機器を購入する際の費用の一部を補助します。

クリーンエネルギー自動車 普及促進補助事業

800万円

脱炭素社会への取り組みとして、電気自動車の購入やV2Hシステムの導入、急速充電設備の設置などの際にかかる費用の一部を補助します。



※詳細は、「広報とうかい」(5月25日号)でお知らせする予定です。

省エネ家電導入促進事業

700万円

各世帯に対する脱炭素社会への取り組みへの支援として、省エネラベル4つ星以上のエアコン・冷蔵庫を購入する際の費用の一部を補助します。



※詳細は、「広報とうかい」(5月25日号)でお知らせする予定です。

1 「選ばれる」まちづくり

シティプロモーション推進事業 871万円

村民の皆さんのまちへの愛着や誇りを醸成するとともに、地域の担い手としてまちへの参画を促すため、基本となる方針の策定や住民を対象としたワークショップ等を開催します。

ウォーカブルなまちづくりの推進 154万円 (運動習慣定着化促進事業ほか)

ウォーキングを軸とした「楽しい」健康まちづくり」を推進するため、歩くことの日常化やきっかけづくり、歩きたくなるまちの形成に取り組みます。



※詳細は、本紙9ページをご覧ください。

2 デジタル化への対応

スマートサービス推進事業 134万円

「書かない窓口」の実現を目指して、マイナンバーカードを活用した申請書自動作成ツールの実証に取り組むなど、行政手続きのデジタル化を推進します。



スマート農業推進支援事業 300万円

人手不足の解消や負担の軽減など、農業が抱える問題を解決するための新しい農業スタイル(「スマート農業」)の構築に向け、農業者が生産および加工現場へ先端技術(ロボット技術やICTなど)を導入する際の費用の一部を補助します。





令和5年度の主な事業・取り組みについての詳細は、随時、「広報とうかい」や村公式ホームページ等でお知らせします。

5 生活基盤の整備

神楽沢近隣公園および中央4号公園整備 (都市計画公園整備事業)

3億2,990万円

中央地区の魅力を向上させ、さらなる転入者を呼び込むために整備を進めている神楽沢近隣公園に加え、新たに中央4号公園の整備に着手します。

駅東口駐輪場の更新工事 (駅前駐輪場管理運営事業)

1億2,320万円

JR東海駅の駐輪場の過密問題を解消し、安心・安全に利用できる環境を整備するため、駅東口(水戸方面側)の駐輪場のリニューアル工事に着手します。

6 セーフティネットの構築

外出支援タクシー利用料金助成事業

1,175万円

日常生活に必要な交通手段の確保と経済的負担の軽減を図るため、これまで要介護認定者や障がい者等に対し、通院時に利用したタクシーに限り助成していた利用料金を、買い物や余暇活動などの利用時にも拡充するほか、要支援者を新たに対象に加えます。

出産・子育て応援パッケージ (出産・子育て応援ギフト支給事業)

8,966万円

全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産し子育てができる環境を整備するために、相談支援や経済的支援を行います。経済的支援については、妊娠届け出時に妊婦1人につき5万円、乳児家庭全戸訪問後に子ども1人につき10万円(国：5万円+村独自：5万円)の応援ギフト(こども商品券)を支給します。※詳細は、本紙8ページをご覧ください。

4 継続的な人づくり

タウンミーティング開催事業

159万円

村民と村長が直接対話し、村政に対する意見等を幅広く聴取することで、まちづくりをはじめとした今後の村政運営に村民の声を生かすことを目的に、タウンミーティングを実施します。



つながるプロジェクト推進事業

1,131万円

住民主体・住民共創のまちづくりを推進するため、新たに、高校生や大学生を含む若い世代をターゲットにした「人づくり」や「つながりづくり」に取り組みます。

自分ごとと化会議の開催

437万円

持続可能な公共施設等の総合管理の推進に向け、村民と公共施設の現状や課題を共有し、解決策を話し合う「自分ごと化会議」を開催し、村民との対話を進めます。

6・3・3 plusとうかいつ子育成プロジェクト

東海村で生まれ育つ子どもたちの、村への愛着や誇り、郷土愛を醸成するため、村内の「自然・歴史」から「ひと」に至るまで、あらゆる地域資源を活用し、小学校期から青年期までを対象とした、連続性のある体験プログラムの構築と実践に取り組みます。

宇宙線ミュオンによる古墳探求プロジェクト推進事業

1,175万円

J-PARCセンターと連携し、宇宙線ミュオンを利用した古墳の調査や、教育プログラムを展開します。

